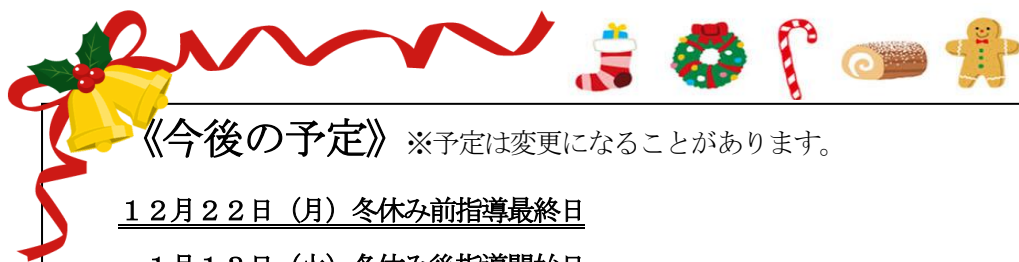


学級だより

2025年12月1日(月)
サポートルーム12月号

特別支援教室拠点校 町田市立町田第三小学校

寒さが深まり、本格的に冬の訪れを感じる季節となりました。早いもので12月2日までが今年の指導となります。サポートルームの子供たちは、この1年間で苦手なことに挑戦したり、友達とのかかわりの中で自分なりに声をかけ協力したり励ましかったり、何事にも一生懸命に取り組むことができました。そうした経験が、子供たちの大切な成長につながっています。今年学んだことを、冬休みにぜひご家庭でも振り返ってみてください。今年もサポートルームの指導にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。年明けにまた元気な笑顔で会い、一緒に学習するのを心待ちにしています。



《今後の予定》 ※予定は変更になることがあります。

12月22日(月) 冬休み前指導最終日

1月13日(火) 冬休み後指導開始日

3月 2日(月)～3月16日(月) 個人面談

3月10日(火)～3月18日(水) 各学校にて保護者会予定

(希望の方 ※3月退級の方は必須となります)

3月16日(月) 今年度指導最終日

☆お知らせ〈指導期間の延長に関わる書類、今後の連絡について〉☆

来年4月からの指導の延長が決まったお子さんについては、保護者の方に記入していただく書類を封筒に入れてお渡ししました。11月28日(金)までに提出をお願いしていますが、まだ提出していない方は、提出をお願いいたします。

今後、延長が正式に決定し次第、連絡帳でお知らせします。

町田第三小学校

低学年「忍者修行」

子供たちが忍者になりきって、いろいろな運動(修行)をしました。

「暗号の修行」では、先生が出す暗号を見て、その指示の通りに動きました。歩いたり、止まったり、お手玉を投げたりして、暗号に合わせて音を立てずに動くことができました。

本町田町田ひなた小学校

低学年「いすとりでゲームまけてもまあいいわ」

いすとりゲームで椅子に座れなかったとき、自分の感情に近い気持ちの椅子に座り「悔しい、でもまあいいか。」と言って気持ちを切り替えながら、いすとりゲームを楽しみました。同じ椅子に座ったとき、「僕の方が遅かったからいいよ。」など譲り合う姿が素敵でした。

南第一小学校

低学年「作ってみよう」

2色の折り紙で輪飾りをつなげ、秋の味覚である葡萄を作りました。説明の間は手を止め、「どうぞ」の合図で作業を始めました。時間内に終わらなそうなときや難しい工程では、「手伝ってください。」と助けを求めることもできました。鮮やかで美味しそうな葡萄が完成しました。

高学年「玉入れビンゴ」

ペアで相談しながら、的にボールを投げ入れ、相手チームより先にビンゴになるように競争しました。「○番を狙うのは、どう？」と仲間に聞いたり、狙いから外れてしまったときには、「いいよ。どんまい。」と励まし合ったりしてゲームを楽しんでいました。

高学年「こんなときどうする」

困ったとき自分ならどうするか？を担当の先生と一緒に考えながらワークシートを作成しました。考えた対処方法で実際に担当以外の先生とロールプレイし、呼びかけ方や伝え方、困っていることを話すことで、相手に分かってもらえる心地よさを実感しました。

高学年「見立てゲーム」

いろいろな物を別の物に見立てる活動をしました。スポンジを目に当ててVRゴーグルに見立てたり、バインダーをお盆に見立てウエイターになったりと個性豊かな発想が見られました。友達の見立てを見て、「思いつかなかった！」と発想の違いを楽しんでいる子供たちでした。

